

# 結女だより

2019年6月1日発行

©企業組合ワーカーズ・コレクティブ結女

西東京市泉町3-15-28

電話042-425-3800



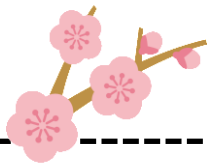
## = 食中毒に注意 =

これからの季節は、食中毒（ノロウィルス）に注意しなくてはなりません。

- ・調理済みのものはなるべく早く食する。（長時間放置しない）

- ・手洗いをこまめにする。などです。

結女では、手は石鹸で洗った後、殺菌作用の高い酸性水でもう一度洗います。生食野菜も酸性水で洗い、必ず当日調理をしていますので安心してください。



## レモネードカフェ（認知症カフェ）開催

毎週火曜日 12時15分～  
ランチ 650円（コーヒー・デザート付）  
場所 結女ランチルーム

食事を楽しみながら問題解決しましょう。  
包括支援センターや専門家の協力も得られます。  
お一人でも、ご家族と一緒にどうぞ。  
お気軽にご参加ください。

## 《 六月・梅雨 》

小さな青梅が、無人販売のかごに見られるようになりました。梅干しはもちろんですが、梅の利用価値はとて多いようです。赤梅酢、梅紫蘇、梅ジャム、梅酢みそ、梅ジュース、梅酒などなど。

良い香りの可愛い花から、梅ぢからを感じる食べ物ができるのは驚きです。昔ながらの作り方も楽しみですが、簡単な作り方もあるようです。

三毒を断つと言われる梅干しや、梅の食品で梅雨の季節、その後の暑い季節を「すっぱい！」で乗り越えたいですね。

結女では毎年、紫蘇ジュースを作って飲んでいきます。

# 【ひとことコラム】



お昼ご飯を食べながら出てきた話を  
少しご紹介します。

6月のイベントで忘れてならないのが父の日ですが、1909年に男手一つで6人の子供を育てた父に感謝して、アメリカ人の女性が父の誕生日である6月に教会で父親を称える礼拝をして貰った、というのが起源だと言われています。今では世界各国でお祝いされている行事ですが、6月の第3日曜日がアメリカや日本も含め世界的に見ても圧倒的に多く、母の日がカーネーションなのに対し、父の日にはバラを贈るという習慣のようです。



衣替えの時期とタイミングはいつもどうしようかなと困るものです。会社や学校では衣替えは6月1日と10月1日にされており、暑い寒い関係無しに衣替えさせられるのは日本特有なのは知っていましたか？

暑いのに冬服になったり、寒いのに夏服になったりするのは困りますが、、日本の文化になっているので仕方ないものかもしれません。

最近は気温の変化も大きくて、タイミングが難しいです。

気象庁の梅雨入りは、専門家が気圧配置や天気の傾向といった様々な気象条件を総合的に判断して発表するものですが、実は明確な基準というのは定められていないのだそうです。

「つゆ」は中国から伝わった梅雨(ばいう)が語源で、黴の生える季節のため元々は黴雨(ばいう)と書かれていたものが、梅の収穫時期と重なるので梅の字があてられるようになったとの事。

尚、「つゆ」という読み方に関しては「露」から来ているという物や、梅の実が熟して潰れる季節という事で「潰ゆ(つゆ)」という等諸説があり正確なところはわかっていないようです。

アジサイは、世界で広く親しまれている日本産の落葉低木で、梅雨どきに咲く代表的な花木です。丈夫で育てやすく、乾燥しないように気をつければ鉢植えでも庭植えでも容易に栽培することができます。

花色は、土壌の酸性度に影響されます。青色の花は酸性土壌でよく発色するので過リン酸石灰や硫酸を施すとよく、赤色の花は、消石灰や苦土石灰を施し中性から弱アルカリ性になるとよく発色します。

